

## 「豊高の未来を語る会」

昨年度初めて開催した「豊科高校の未来を語る会」。今年度も11月29日、第一回を開催しました。

この会は、高校改革が進む中で、令和5年度に本校が創立百周年を迎えるのを機に、地域における豊科高校の役割や将来に向けた方向性を、様々な角度から継続的に語り合うことを目的に、昨年度は生徒代表（新旧の生徒会役員）、同窓会役員の皆様、PTAの正・副会長様、地区の区長様と教職員で懇談を行いました。

今年はまずは、発足したばかりの新生徒会役員と教員有志により、下記のようなテーマを設定して校内版の語る会を実施してみました。

### テーマ

- ① 豊高生のよいところ  
豊高に入学してよかったこと
- ② 豊高生はまだまだ伸びると思う点
- ③ 豊科高校はどんな学校であってほしいか



- ① については、生徒同士の仲の良さ、日常的なあいさつや会話の多さから、穏やかで明るい校風が感じられます。また、緑豊かで静かな学習に適した環境と、問題行動がほとんどない落ち着いた学校生活が送れること、そして生徒はまじめで責任感があり、部活と勉強両方に全力で取り組む点が、本校の大きな魅力であることが再確認できました。
- ② については、最も多かった意見は授業への取り組みについてでした。生徒自身も、もっと積極的に自由に発言して、授業を活気あるものにしたいと思っています。生徒の自主性を伸ばしたいという意見や、他校との交流を増やしたいという意見も多く、今後の取り組みの大きなヒントとなりました。
- ③ については、「豊高といえばコレ、というものを創る」という意見に代表されるように、本校の特徴を打ち出したい気持ちを生徒も強く感じています。また、先生と生徒のコミュニケーションをもっと深める、他校や地域とのつながりを強めるなどの前向きな意見が多く出されました。

生徒からも、このような懇談の機会をもっと持ちたいとの声があり、次は学校外の方も交えた会を企画したいと思います。

ここで出された意見は、今後の学校運営や生徒会活動に反映させていきます。

11月28日(日)に同窓会役員会が開催され、創立100周年記念事業案が承認されました。  
令和5年の記念事業実施に向けて、実行委員会の活動も本格始動しています。